



分野 3

子育て・教育

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



政策 4	結婚・出産・子育ての希望がない、子どもが笑顔で健やかに育つ社会の実現	129
政策 5	学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、学校づくりの推進 ..	135

分野 3



子育て・教育

政策4
子育て結婚・出産・子育ての希望がかない、
子どもが笑顔で健やかに育つ社会の実現

基本的方向

子どもと子育てにやさしいまちを目指し、ライフステージに応じた切れ目のない支援により、希望する人が安心して結婚し、子どもを産み育てることができる新潟市をつくります。

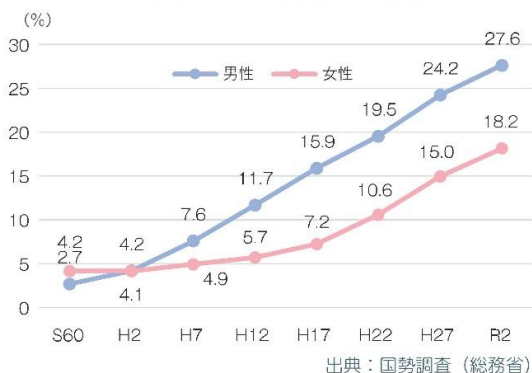
一人一人の「子どもの最善の利益」と子どもの権利保障を第一に考えながら、子どもは社会の宝であるという認識のもと、地域や企業などとともに、社会全体で子育てに温かい環境を築くことにより、新潟の将来を担う子どもたちが笑顔で健やかに育つ環境を整えていきます。

新潟市の現状 / 将来を見据えた課題

いずれ結婚したいと考えている方は多い

○令和2（2020）年の新潟市の50歳時未婚率は男性27.6%、女性18.2%と、いずれも上昇傾向にあります。一方、独身者のうち「いずれ結婚したい」と考えている方は7割以上に上ります。

○結婚の希望をかなえられない理由としては、適当な相手にめぐり合わない、経済的な余裕がないといったことが多く挙げられています。

新潟市における50歳時未婚割合の推移^{*1}

夫婦が理想とする子どもの人数

○夫婦の理想とする子どもの人数と実際にもつ予定の子どもの人数には差があり、その理由として、未就学児保護者、小学生保護者それぞれ違いはあるものの、出産や教育にかかる経済的負担の大きさや仕事と子育ての両立の困難さが挙げられています。

○理想と現実のギャップを埋めるためには、これらの課題解消に向けたライフステージに応じた取組を推進するとともに、安心して子どもを産み育てられる環境を構築することが重要です。

実際にもつ予定の子どもの人数が理想より少ない理由	未就学児保護者	小学生保護者
大学教育期間において教育に関する様々な費用がかかるから	60.8%	55.6%
出産費用等の経済的負担が大きいため	47.3%	27.8%
仕事と子育ての両立が難しいから	33.1%	31.6%
妊娠・出産が精神的・肉体的に大変だから	31.1%	30.8%

出典：新潟市子育て市民アンケート調査（令和6年度）

*1 平成27年および令和2年は不詳補完値による。平成22年以前の割合は分母から年齢不詳を除いて算出。

（新規追加）

○こどもを持ちたいという夫婦に対する不妊治療は保険適用となっているものの、依然として多くの費用が掛かっています。

仕事と子育ての両立が重要

○新潟市は共働き率が高いことが特徴です。仕事と子育てを両立しやすい環境を構築するために、幼児教育・保育の提供のほか、様々な子育て支援サービスを行っています。

○子育て世帯の経済的負担を軽減するため、**子ども医療費**の助成、ひとり親家庭への支援などに取り組むことが重要です。

核家族化などによる育児不安の増大

○核家族が増えたことなどにより、産後の不安感の増大や育児力の低下が生じています。また、産後うつリスクがある産婦の割合も増加傾向にあり、こうした妊産婦を含めた支援の充実が求められています。

○誰もが安心して妊娠、出産、子育てができるよう、市民に寄り添ったきめ細かな相談体制により、リスク発生の未然防止・早期発見と必要な支援を行っていくことに加え、社会全体が子育てに関心をもち、支援すること(子育ての社会化)が求められます。

良好な教育・保育環境の確保と質の向上

○急速に進行する少子化や多様化する保育ニーズ等に対応しつつ、**質の高い教育・保育サービスを持続的に提供していくためには、市立保育園の適正配置や保育人材の確保が継続した課題となっています。**

○子どもの豊かで健やかな育ちを確実に支えていくためには、教育・保育の質を確保・向上させていくことが重要です。

良好な教育・保育環境の確保と質の向上の取組

(国基準より充実した職員配置下での保育、職員ミーティングの様子)



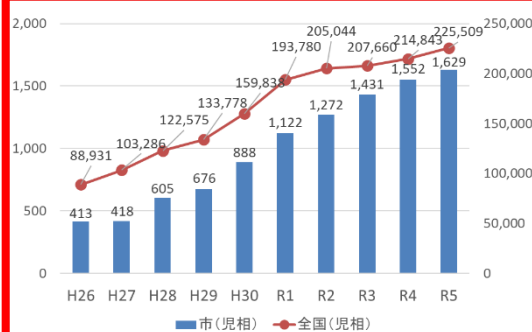
子どもの権利を守る重要性

○子どもの誰もが、かけがえのない、人格と人権を持った一人の人間として尊重され、今を豊かに生き、成長発達する権利を有していること、そして、大人がこれを保障する責務があることを市民一人一人が理解することが重要です。

○**児童虐待相談対応件数や、緊急に安全確保が必要な一時保護児童の件数が年々増加傾向にある中、困難な状況にある子どもの権利を守るため、適切な支援策を講ずることが重要です。**

○国による調査では、**9人に1人の子どもが相対的な貧困状態にあるとともに、親やきょうだいなどの世話を子どもが担うことで、学業などに支障を来す状況に置かれている子ども(ヤングケアラー*1)の問題も顕在化してきています。**

児童虐待相談対応件数の推移



出典：新潟市児童相談所調べ

*1 家族の介護その他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者のこと。

施 策

施策1 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目のない支援

1 子どもが有する固有の権利の保障

- 全ての子どもが豊かな子ども期を過ごすことができるよう、新潟市子ども条例の趣旨を、権利の主体である子どもたちのほか、幅広い市民に普及・啓発します。
- 子どもの権利が侵害されたときに適切に対応できる支援体制の構築や、子どもの意見を市政に反映させる取組を進めます。

新潟市子ども条例パンフレット



2 出会い・結婚に対する支援

- 若者が早い時期から将来の結婚や子育てのイメージを持ち、妊娠・出産の適齢期を見据えたライフデザインを考えられる機会を創出します。
- 民間事業者と連携した出会いの場の創出や、地域を挙げて結婚を応援する機運の醸成を図るなど、結婚を望む人の希望をかなえられる環境づくりを推進します。
- 結婚に伴う不安の解消と経済的な負担の軽減を図るため、結婚およびその後の新生活への支援に取り組めます。

婚活支援ネットワークによる
出会いの場の創出

ネットワーク参画団体等
との情報共有・意見交換



3 妊娠・出産・子育て期の包括的な支援

○全ての妊産婦が安心して子どもを産み育てられるよう、新潟市の特色を活かし、妊娠・子育てほっとステーションを中心に、地域の中で一人一人に寄り添った相談体制を構築したほか、SNS*1やアプリの活用等、デジタル技術を活用し、必要な人に的確に届くよう、効果的で分かりやすい子育て情報の発信を行います。

- 妊娠・出産期の幸福感を高め、希望する子どもの人数を実現できるよう、産前・産後のケアを強化し、保護者同士や専門機関などとのつながりを促進することで、孤独の解消と子育てに関する正しい理解が深まるよう支援します。

○妊娠・出産・子育ての各ライフステージに応じた経済的負担を軽減するため、**不妊治療費助成**や、妊産婦や子どもに対する医療費の助成等、それぞれのニーズに応じた支援に取り組めます。

各区役所に設置された妊娠・子育てほっとステーション



4 良好な教育・保育環境の確保と質の向上

○良好な教育・保育環境の確保に向け、施設の適正配置の取組を一層推進するとともに、**安定的に保育人材を確保**できるよう、関係団体と連携し、保育業務の魅力を発信し、人材確保・育成に取り組めます。

○連携拠点園を中心に、幼児教育・保育施設等関係者の連携を強化するほか、**職員研修の充実を図ります**。また**デジタル技術の活用**などにより、現場の負担軽減と働きやすい職場づくりを進め、市全体の教育・保育の質の確保・向上に取り組めます。

*1 Social Networking Serviceの略。インターネットを通じて、社会的なネットワークの構築を支援するサービス。

(新規追加)

○多様な保育・子育て支援ニーズに対応し、必要な方が適切なサービスを受けられるよう支援の充実に取り組めます。

5 子どもが安心して過ごせる居場所づくり

○就労等により昼間に保護者が家庭にいない児童に対し、適切な遊びや生活の場を提供するため、放課後児童クラブの整備や狭あい化の解消、学校や児童館等との連携を強化します。

○子どもたちが安心して過ごせる居場所づくりに向け、児童館等の地域の既存施設を有効活用し、地域との連携を図りながら、健全な遊びの提供や居場所の確保を図ります。

○こども食堂や地域の茶の間といった地域団体等が運営する居場所について、社会福祉協議会などの中間支援組織と連携しながら、活動支援に取り組みます。



子ども食堂

関連する施策

- 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進 …P137
- 創造力と人間力あふれる市民が学び育つ生涯学習の推進 …P138
- 誰もがいきいきと働き続けられる環境づくり …P155
- 安心して住み続けられる良好な住環境の創出 …P189

施策2 子どもや家庭への温もりのある支援

1 子どもの貧困対策と困難を抱える子どもへの支援

○子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されず、子どもの安心して生きる権利が守られるよう、子どもの貧困対策に関する取組を着実に推進します。

○地域に根差した活動を行っている子育て支援団体等との連携強化により、子どもの学習機会の確保に取り組めます。

○家族の介護等を担うヤングケアラーの存在を幅広く周知し、実態を把握するとともに、関係機関と連携した相談・支援体制を構築し、支援を実施していきます。

2 児童虐待の防止と社会的養育

○重大な子どもの権利侵害である児童虐待に迅速かつ確に組織的な対応が行えるよう、デジタル技術を活用するとともに、児童相談所及び妊娠・子育てほっとステーション(こども家庭センター)*1職員の専門性向上や体制強化を進めます。

○保護者の適切な養育が受けられない子どもの健やかな育ちを支えるため、包括的な里親養育支援体制*2による支援を実施するとともに、施設等の退所後も自立した生活を営むことができるよう、必要な支援を継続します。

○各区の妊娠・子育てほっとステーション(こども家庭センター)におけるアウトリーチ型*3の取組を推進するなど、課題を抱える子どもや家庭への適切な支援につなげます。

関連する施策

- 男女共同参画の推進 …P114
- 人権を尊重する社会の推進 …P116
- 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進 …P137
- 地域との連携による開かれた学びの推進 …P139
- 障がいのある有無によらず安心して暮らせる共生社会の実現 …P148
- 生活に困窮する方に寄り添った自立支援 …P149

3 ひとり親家庭への支援

○ひとり親家庭の自立に向け、生活や就労について、SNS等を活用した情報発信や相談体制の充実を図るとともに、支援団体等との連携を深め、交流の場の提供に努めます。また、経済的な安定につながる支援に取り組めます。

○子どもが両親や保護者から愛され大切にされていると実感できる社会の実現に向け、養育費や面会交流などの重要性について、周知・啓発に取り組めます。

4 配慮が必要な子どもや家族への支援

○障がいや発達に心配のある子どもが安心して幼児教育・保育施設などを利用することができる体制を構築するとともに、障がい福祉サービスの充実にも努めるなど、地域で支援が受けられる環境を整備します。

○乳幼児健康診査などの機会を捉え、障がいの早期の気づきに努めるとともに、適切に相談支援や療育につなぐことで子どもの健やかな育ちを支えます。

○医療的ケア児*4とその家族が、必要とする支援を適切に受けられるよう、関係機関と連携していくとともに、幼児教育・保育施設に看護師を配置するなど、支援の体制整備を推進します。

3歳児健診の様子



*1 母子保健機能及び児童福祉機能の一体的な運営を通じて、①妊産婦及び乳幼児の健康の保持・増進に関する包括的な支援、②子どもと子育て家庭(妊産婦を含む)の福祉に関する包括的な支援を、切れ目なく提供する役割を持つ拠点のこと。

*2 里親のリクルート及びアセスメント、里親に対する研修、こどもと里親のマッチング、里親養育への支援、里親解除後における支援を一貫して実施する体制のこと。

*3 生活上の課題を抱えながら、自ら援助にアクセスできない人や家族などに対して、訪問や地域での相談、地域の支援者との連携などによって、支援につながるよう積極的に働きかける取組のこと。

*4 日常生活および社会生活を営むために日常的に医療的ケアが必要な児童のこと。

施策3 社会全体での子育て支援

1 社会全体で子育てを応援する機運の醸成

- 仕事と子育ての両立のため、企業等への啓発や支援を進めるほか、男性の家事や育児への参画を促進するなど、産業・交流や市民活躍など他の分野の施策と一体的に推進します。
- 子どもは社会の宝であるという認識のもと、地域や民間事業者との協働により、社会全体が子育てに関心を持ち、応援する機運の醸成を図ることにより、子育ての社会化（子育てに社会全体で取り組むこと）を推進します。

「スマイルプラス運動」とは・・・？

市民・地域・企業が子育て世代に関心を持ち、協力を理解して、一人一人ができることから行動することで、市全体にスマイルをプラスしていこうという運動です。

具体的には次の3つのステップで子育てをサポートします。

ステップ1

理解する

子どもは近くのが当たり前

ステップ2

小さな行動をする

子育て頑張ってる！何をしてあげられるかな？

ステップ3

提供する

積極的にサポートします！

この運動の趣旨に賛同し、子育て世代や子どもたちに対する行動や応援を宣言していただく「スマイルプラス運動宣言」を募集しています！
市ホームページでスマイルプラスと検索し、ぜひ応募してください！

新潟市子育て応援キャラクター
はのわちゃん

2 地域と連携した子育て支援

- 医療機関や学校を含め、様々な関係機関や地域人材が有機的に連携しながら、子育てを重層的に支援します。
- 多様な家族形態があることを前提に、地域の様々な人や団体が、子どもと子育て家庭への支援に参画できるよう、地域における子どもたちの見守りと情報提供を継続するとともに、ファミリー・サポート・センター^{*1}による子育て家庭への支援等を推進します。

ファミリー・サポート・センター提供会員による預かりの様子



3 担い手の確保・育成

○地域全体の多様な子育て支援サービスの質の向上と体制強化を図るため、**担い手となる専門人材の確保や、関係機関の連携強化に取り組めます。また、職員の研修や処遇改善に加え、デジタル技術の活用等による働きやすい職場づくりを目指します。**

関連する施策

- 男女共同参画の推進 …P114
- 創造力と人間力あふれる市民が学び育つ生涯学習の推進 …P138
- 誰もがいきいきと働ける環境づくり …P155

政策指標

婚姻件数

現状値	中間目標 令和8(2026)年度	最終目標 令和12(2030)年度
2,906件 (令和3年)	11,000件 (令和5年～ 令和8年累計)	20,900件 (令和5年～ 令和12年累計)

新潟市は子育てしやすいまちだと思ふ保護者の割合

現状値	中間目標 令和8(2026)年度	最終目標 令和12(2030)年度
74.1% (令和4年度)	77.0% (令和8年度)	80.0% (令和12年度)

夫婦が実際にもつ予定の子どもの人数

現状値	中間目標 令和8(2026)年度	最終目標 令和12(2030)年度
2.21人 (令和4年度)	2.24人 (令和8年度)	2.27人 (令和12年度)

指標の定義や目標設定の考え方をP265～278に記載しています。

*1 地域の中で子育てを支え合う相互支援事業のこと。子どもの預かりや送迎などの援助を受けたい人と、援助を行いたい人がそれぞれ会員登録し、双方のニーズを踏まえマッチングを行うサービス。

関連する主な分野別計画

●新潟市子どもの権利推進計画

(削除)

(新規追加)

●新潟市こども計画

●新潟市立保育園配置計画

分野 3



子育て・教育

政策5
教育学・社・民の融合による人づくり、地域づくり、
学校づくりの推進

基本的方向

「しなやかに世界と未来を創る人」という新潟市の教育が目指す人間像の実現に向け、子どもたちの育ちと市民の生涯にわたる学びを支えます。そのために、学校と地域などが一体となって絆を深め、郷土に誇りと愛着をもって社会に貢献する市民の育成や、学びを生かしたり、他者と協働したりしながら、夢や希望に向かって挑戦し続ける市民の育成に、学・社・民*1が一体となって取り組みます。

新潟市の現状 / 将来を見据えた課題

学力・体力・豊かな心を支える環境

- 新潟市の児童生徒の学力および体力の状況は、政令指定都市の中でも上位にあります。
- その土台となる学びの環境として、アグリ・スタディ・プログラム*2や大好きにいがた（総合的な学習の時間）のほか、グローバル化に対応したコミュニケーション能力の育成などにより、生きる力を育む取組を進めています。
- 子どもの社会的自立に至る長期的な視野に立ち、幼稚園などと小学校との接続や教育環境を踏まえた小中一貫した教育の推進など、校種間の連携を進めています。

ICTを活用した教育の推進

OGIGAスクール構想*3の推進を踏まえ、情報活用能力を含めた基盤となる資質・能力を豊かに育むため、教育面におけるICT*4の活用を行っています。

- 将来はICTも活用し、自分のペースで学びを調整したり、学校外のリソース（社会・民間の力）を活かした学びを進めたりすることなど、子どもの認知の特性・関心に応じた教育の展開が予想されます。

ICT機器を活用した授業



*1 「学」は学校、「社」は公民館や図書館などの社会教育施設、「民」は地域住民、家庭、地域の団体や企業のこと。

*2 田園型政令市・新潟の特徴を活かした農業体験学習のこと。各教科等の学習を深化・補完し、生きる力を育むとともに、新潟の食と農や地域の魅力を学ぶ等、特徴的な取組。

*3 Global and Innovation Gateway for Allの略。児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想のこと。

*4 Information and Communication Technology（情報通信技術）の略。

特別支援教育の充実

○特別支援学校および特別支援学級に在籍する児童生徒の増加と障がいの多様化により、学校はより一層のきめ細かな配慮と支援の提供を求められています。そのため、ニーズと課題に対応した教育を進めるための環境整備と人材育成、体制強化を進めることが重要です。

○GIGAスクール構想の効果的な対応も含め、児童生徒にとっての個別最適な学びが実現するようにすることが重要です。

将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合



出典：全国学力・学習状況調査（文部科学省）
※令和2年：新潟市生活・学習意識調査

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがあると回答した児童生徒の割合



出典：令和4年まで全国学力・学習状況調査（文部科学省）
「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」
※令和6年より新潟市生活・学習意識調査から出典
「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」
※平成28年、令和2年、令和5年は調査なし

地域への誇りと愛着の醸成

○市の意識調査で「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」と回答した割合は中3で約6割に上ります。一定程度地域への愛着が育まれていると分析できますが、その愛着をもち続けられるよう、学校では地域学習、公民館では地域の文化や伝統を体感できる活動を推進することがより重要です。

地域の課題解決につながる人づくり

○人生100年時代を迎え、市民が豊かな人生を送るためにも生涯学習との関わり方が重要になってきます。多様な学びの場とともに、そこで培った知識や経験を教育活動や地域等に活かしていく場が大切であり、そのためにはより一層学びを通して地域課題の解決や地域活性化を推し進める人材を育成（次世代育成）していくことが重要です。

地域と一体となった学校づくり

○市立の全小・中・中等教育・特別支援学校で学校運営協議会制度に取り組んでいます。これまで地域と学校パートナーシップ事業^{*1}によって築いてきた土台の上に、さらに地域と学校の関係の深化を進め、子どもの学びと成長を支えていくことが重要です。

年少人口の減少に伴う新たな教育環境

○児童生徒数の減少に伴い、学校規模の適正化等、学校運営上の課題や児童生徒への影響が懸念されます。

地域と学校の協働による活動



*1 地域教育コーディネーターを学校に配置し、学校と社会教育施設や地域活動を結ぶネットワークを形成する事業のこと。

(新規追加)

○安心・安全な学校給食を提供するとともに、地場産物の活用など給食を通じた食育の推進に取り組みます。

施策

施策1 学力・体力に自信をもち、世界と共に生きる心豊かな子どもを育む学校教育の推進

1 自己実現していく力の育成

○目的意識や課題意識を大切にしながら、主体的・対話的で深い学びによる授業改善により、資質・能力（知識・技能、思考力・判断力・表現力、人間性等）を育みます。

○学校の特色や地域の実情を踏まえつつ、発達段階にふさわしいキャリア教育*1を推進し、将来にわたって地域への誇りと愛着をもち、社会的・職業的に自立し、集団や社会で様々な人とかわり、自分の役割を果たしながら自分らしく生きる資質・能力を育みます。

○アグリ・スタディ・プログラムの推進などにより、持続可能な社会の実現に向け、よりよく問題を解決する力を養うとともに、豊かな食の恵みに感謝し、いのちや人の絆を大切にすることを育みます。

○外国語教育・国際理解教育を充実する取組により、コミュニケーション能力を養うとともに、諸外国の人々と理解し合い、共に生きていく資質・能力を育みます。

○ICT機器の積極的な活用とともに、適切な使用にも配慮しながら、指導方法・指導体制の工夫改善を図り、グローバルな視点を踏まえた持続可能な社会を築くための実践力やプログラミング的思考*2を育みます。

○幼児教育・保育施設等との連携や小中一貫した教育の充実により、幼児教育から中学校教育までの連続性を強化するとともに、幼児教育の水準向上に向けた取組を実施します。

アグリ・スタディ・プログラム（動物との触れ合い）



関連する施策

- 地域団体・市民団体の活動の推進 …P113
- 障がいのある人の生きづらさや差別の解消、社会参加の推進 …P115
- 多文化共生のまちづくり …P116

2 豊かな心と健やかな身体の育成

○自他を尊重する心豊かな人間性・社会性を身に付けるとともに、善悪の判断などの社会のルールを守り、自信と誇りをもって生きることができるよう力を育みます。

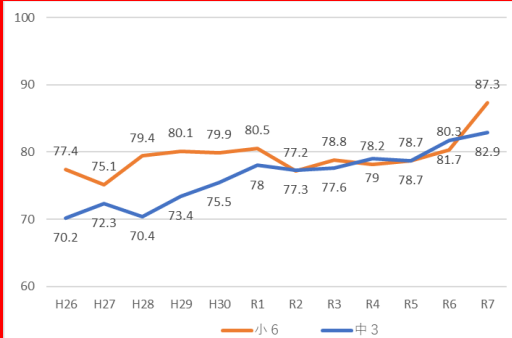
○一人一人の成長を促す生活指導に取り組み、めあてをもち、自己決定し、自主的に行動する自律性と、互いに認め合い、支え合い、高め合う社会性を育みます。

○いじめや不登校等において、予防的な指導や、悩みや問題を抱える児童生徒一人一人に対応する課題解決的な指導に、他の機関などと連携しながら組織的に取り組みます。

○生涯にわたって心身共に健康に生き抜く力を育むため、自らの健康に関心をもち、健康の増進、病気の予防など、健やかに生きるための主体的な健康づくりができるよう家庭と連携して取り組みます。

○共生社会*3の実現を目指すインクルーシブ教育システム*4のさらなる充実に向けて、就学時から社会参加まで切れ目のない支援を充実し、一人一人のニーズと課題に対応した特別支援教育を推進します。

自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合



出典：新潟市生活・学習意識調査

- 人権を尊重する社会の推進 …P116
- 文化芸術による子どもの豊かな感性や創造力の育成 …P121
- 出会いから結婚・妊娠・出産・子育てにかけての切れ目ない支援 …P131
- 子どもや家庭への温もりのある支援 …P132
- こころと身体の健康の増進 …P143

*1 一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育のこと。

*2 自分が意図する一連の活動を実現するために、どのような動きの組み合わせが必要であり、一つ一つの動きに対応した記号を、どのように組み合わせたらいいのか、記号の組み合わせをどのように改善していけば、より意図した活動に近づくのか、といったことを論理的に考えていくこと。

*3 誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会のこと。

*4 共生社会の形成に向けて、障がいのある子どもと障がいのない子どもが共に学ばず仕組であり、自己の生活する地域において初等中等教育の機会が与えられ、個人に必要な「合理的配慮」が提供されること。

3 安心して学べる環境づくり

- 通学時における交通事故防止や不審者対応などへの体制づくりを進め、その充実を図ります。また、災害時に危険を自ら察知し、率先して安全を確保する行動がとれるよう、防災教育を充実させます。
- 経済的理由により就学の機会が失われることがないよう、また、誰もが安心して学習に取り組み、多様な進路選択ができるよう、教育機会の確保に向けた取組を進めます。

関連する施策

- 障がいの有無によらず安心して暮らせる共生社会の実現 …P148
- 農林水産業を活かしたまちづくり …P160
- 世界とつながる国際交流の推進 …P167
- 多様な支援による移住・定住の促進、関係人口の創出 …P171
- 生活の安心・安全の確保 …P177
- 消防体制の充実 …P182
- 安心・安全な道路ネットワークの確保 …P193
- 自然との共生 …P201

4 将来にわたって望ましい教育環境の提供

- 多様な考え方に触れ、集団性・社会性を育むとともに、コミュニケーションを通じた学びによる資質・能力を育むことができるよう、望ましい学校規模の実現に向けて地域との協議を進めます。
- 教職員が自ら学び続け、高い専門性と豊かな人間性を伸長できるような研修プログラムを実施します。
- 教職員が生き生きと子どもたちと向き合うため、学校と保護者・地域が一体となった働き方改革を推進することにより、働きやすい職場づくりを目指すとともに、心身の健康の保持増進へのきめ細かな支援を充実させます。さらには、子どもの学びをしっかりと把握していくための学習環境の改善を図ります。

施策2 創造力と人間力あふれる市民が学び育つ生涯学習の推進

1 家庭教育の充実と子育て支援

- 家庭での教育力の向上に向け、学校と家庭および地域と家庭の連携を推進するとともに、不安や疑問などに対応する学習機会や相談体制の充実に取り組みます。
- 子育て中の保護者が安心して学習できる機会や、家庭での教育に関する情報を提供するとともに、子育ての悩みなどを共有して支え合える関係づくりを支援するなど、学びを生かす取組を促進します。
- 子どもが言葉を学び、表現力を高め、創造力を豊かなものにする読書活動を推進するとともに、読書を通して親子の絆を深めるための取組を行うほか、誰もが利用しやすい図書館環境を整備します。

赤ちゃんタイム絵本相談の様子



2 循環型生涯学習の推進

- あらゆる世代の主体的な学習活動を推進するため、高等教育機関および企業と連携しながら、時代や社会の変化ならびに学習ニーズに応じた多様な学習機会の提供を効果的に進めます。
- 市民一人一人の学習活動や、市民が学びに出会い、学びを深めていく場を支援するため、広く学習情報や資料を提供します。
- 市民が学んだ知識や成果を教育活動や地域に生かすために、生涯学習ボランティアなどを育成するとともに、学校や地域などと連携しながら、その活動の場を支援します。
- 地域課題学習を通して地域活動を担う人材を育成し、地域が抱える課題の解決を支援するなど、学習成果を人づくりや地域づくりに生かす循環型生涯学習^{*1}を推進します。
- 市民の生涯にわたる多様な学習活動を通して、地域課題等の解決を支援します。そのため、公民館や図書館等の機能と様々な媒体を有効に活用しながら、情報を積極的に発信するとともに、情報や資料等の収集・提供と相談体制の充実を図ります。

(新規追加)

○夜間中学を設置することにより、様々な理由によって、学齢期に十分な教育を受けられなかった方々に教育を受ける機会を提供することで、教育の機会均等を図るとともに、社会的包摂の実現や、生涯学習の促進を目指します。

^{*1} 自ら学んだ成果を地域で生かし、学びを継承していくことで、新たなつながりを広げ、地域課題の解決や地域の活性化を推し進める人材の育成(活動の場の支援)を進めること。

施策3 地域との連携による開かれた学びの推進

1 地域と学校・社会教育施設の協働

○「地域とともにある学校」を目指し、学校と地域が共通の目標をもって、学校と社会教育施設、家庭、地域をつなぐネットワークづくりをさらに進め、子どもの豊かな成長を支える協働事業を一層推進します。

○地域コミュニティ協議会*1などの地域団体と連携・協働しながら、学校での**総合的な学習の時間や部活動、地域クラブ活動を推進するほか、地域における課題の解決を支援します。**

○市民のニーズにより広く対応するため、大学との連携を推進し、教職員研修の質を高めます。

関連する施策

- 地域団体・市民団体の活動の推進 …P113
- 文化芸術活動の活性化 …P121

学校運営協議会における地域と小中学生の話し合い



- 生涯スポーツ社会の実現 …P125
- 子どもや家庭への温もりのある支援 …P132

政策指標

将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合

現状値	中間目標 令和8(2026)年度	最終目標 令和12(2030)年度
小6 80.3% 中3 67.7% (令和4年度)	小6 84.0% 中3 72.0% (令和8年度)	小6 88.0% 中3 76.0% (令和12年度)

学習や生活において、自分で考え課題を解決したり、自分で判断して行動したと回答した児童生徒の割合

現状値	中間目標 令和8(2026)年度	最終目標 令和12(2030)年度
小6 86.3% 中3 87.0% (令和3年度)	小6 88.0% 中3 88.0% (令和8年度)	小6 90.0% 中3 90.0% (令和12年度)

自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合

現状値	中間目標 令和8(2026)年度	最終目標 令和12(2030)年度
小6 78.8% 中3 77.6% (令和3年度)	小6 81.0% 中3 81.0% (令和8年度)	小6 83.0% 中3 83.0% (令和12年度)

生涯学習活動で身に付けた知識や技能を、地域や学校、ボランティア活動に活かしている市民の割合

現状値	中間目標 令和8(2026)年度	最終目標 令和12(2030)年度
12.2% (令和4年度)	16.0% (令和8年度)	20.0% (令和12年度)

指標の定義や目標設定の考え方をP265～278に記載しています。

地域や社会をよくするために何をすべきかを考える
ことがあると回答した児童生徒の割合

現状値	中間目標 令和8(2026)年度	最終目標 令和12(2030)年度
小6 59.3% 中3 46.9% (令和4年度)	小6 64.0% 中3 52.0% (令和8年度)	小6 69.0% 中3 57.0% (令和12年度)

関連する主な分野別計画

●新潟市教育振興基本計画～にいがた学びのコンパス～

●新潟市立小中学校の適正配置基本方針

●新潟市教育委員会多忙化解消行動計画

(削除)

*1 市民と市が協働して、地域のまちづくりやその他の諸課題に取り組み市民自治の推進を図るため、おおむね小学校区を基本単位として、自治会・町内会を中心に様々な団体等で構成された組織のこと。